



堀場製作所OB会

会報

通巻54号

発行日 令和6年12月21日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 沢本 昌順

	ページ		ページ
◆2024年第29期年次総会		○ボウリング	14
○第29期 年次総会概要	2	○釣りクラブ	15
○第29期 年次総会概要《東京支部》	4	○囲碁	15
○会社近況報告	4	○東京カルチャークラブ (TCC)	15
○年次総会・懇親会	8	○ゴルフクラブ	16
◆HOVC 活動 ボランティア部会		○カラオケクラブ	17
○工房学習活動	9	○フォトクラブ	17
○鴨川クリーンハイク	10	◆2024年会社ニュース ピックアップ	18
○オオバナミズキンバイ駆除大作戦	10	◆OB 会だより	
○祇園祭ごみゼロ大作戦	10	○ホームページの紹介	20
◆行事報告		○会報、ホームページへの寄稿について	20
○懇親会	11	○新入会員紹介	20
◆レジャー例会		○古希を迎えられた方	20
○SPring-8、西はりま天文台	12	○会員数	20
○神戸須磨シーワールド	13	○訃報	20
◆クラブ活動報告		○OB 会入会手続きについて	20
○山遊会	14	◆編集後記	20



柁野貴船神社

柁野学区（上賀茂西後藤町）に貴船神社があります。鞍馬にある貴船神社とは、同じ祭神を祀る（まつる）神社で、区別するため柁野貴船神社と称されます。

周りには今でも田畑が多くあり、農業の、「ため池」の守り神として此の地に祀られました。駒札（将棋の駒に似た説明書きのある立札）があり、そこには、『上の段、下の段、および別れを含む柁野地域の氏神である。…』と、記載されています。拝殿前には、上賀茂神社に似た、立砂（砂を円錐形に盛ったもの）があります。最近まで上賀茂神社の神職が貴船神社の祭事を行うなど、上賀茂神社と密接な関係のある神社です。年中行事は、秋の大祭（10月23日の前の日曜日）、はじめ歳旦祭、節分祭、虫送り祭、方生祭、大祓祭があります。秋の大祭の時は、神輿、稚児、金幣銀幣、神宝などの行列があり、上賀茂神社の近くまで練り歩きます。私もこの町内に住み、貴船神社の各行事にかかわり、また交代で神社の清掃当番があり従事しています。（三橋泰夫 記）

◆ 2024年第29期年次総会



第29期 年次総会概要

11月11日（月）、午後1時から本社講堂で開催。



■第1部 講演 「堀場 信吉 博士の足跡」
(株)堀場製作所 開発本部テクノロジー
イノベーションセンター
先行開発部デザイン担当 米澤 俵介 様



■ 第2部 総会

堀場製作所 OB 会
代表幹事 酒井 俊英



■ 第3部 講話 「会社近況報告」
(株)堀場製作所 取締役
小石 秀之 殿



■ 第4部 懇親会 4号館3F

以下、第2部の要旨

1. 第28期活動報告

◆ボランティア活動の維持・継続

- ◎ 京都マラソンの交通整理 実施(2月18日)
- ◎ 桂川流域クリーン大作戦 実施(2月25日)
- ◎ 鴨川茶店 実施(4月6日&7日)
- ◎ 鴨川クリーンハイク 実施(4月29日、6月2日)
- ◎ オオバナミズキンバイ駆除活動 実施(6月30日)
- ◎ 祇園祭ごみゼロ大作戦 実施(7月15日【宵々山】)

◆キャリア活動(HOVC)の継続

- ◎ 生き方探求館・工作授業支援活動
実施(5月10日、5月31日、7月3日、9月20日)

◆恒例行事

- ◎ 一泊研修旅行 福井・山中温泉(3月22日~23日)
- ◎ 春の懇親会 がんこ高瀬川(4月20日)
- ◎ レジャー例会 Spring-8,西はりま天文台(6月28日)
- ◎ HORIBA ファーム 今期は実施せず
- ◎ 秋の懇親会 がんこ高瀬川(9月21日)

◆行事の参加者数の増加に注力

- ◎ 秋の懇親会の参加者は 33 名
- ◎ 本総会の参加者は 51 名

リアル参加者 45 名(幹事含む)

オンライン参加者 6 名(東京支店他)

今年も堀場製作所総務部様の御厚意により、テレビ会議システムを活用し、東京支店他もオンライン参加が可能となりました。皆様の御協力に感謝します。

◆新入会員を増やす活動

- ◎ 今期も、定年退職者説明会での勧誘
 - ① 退職者は全員参加を前提とする。
 - ② 説明会で、入会申込書を記入のうえ入会した方は、初年度の年会費はゼロにさせていただきます。
- 結果として、第28期中の入会者数は計4名
皆様のご協力に感謝します!(会員数276名)
※定年年齢が60歳から65歳へ(5年間で順次延長)

■クラブ活動報告(28期) (敬称略)

- | クラブ名 | 部長 | 部員数 | 活動内容 |
|---------|-------|-----|------------|
| ◎山遊会 | 下川 | 10名 | 年4回山行実施 |
| ◎釣りクラブ | 調子 | 8名 | 例会を年3回実施 |
| ◎フォトクラブ | 笠川 | 未定 | 開催なし |
| ◎囲碁クラブ | 中村(正) | 7名 | 京都新聞社大会、例会 |
| ◎TCクラブ | 石川 | 9名 | 見学会を年2回実施 |
| ◎ゴルフクラブ | 三好 | 30名 | コンペ 2回開催 |

◎ボウリングクラブ 毛利 20名 例会12回実施

◎カラオケクラブ 小川 17名 例会年6回実施

■会計報告 (詳細は割愛)

■会計監査報告

湯浅 一郎 氏(堀場製作所OB会 会計監査役)より、監査結果の報告がなされました。



第28期の活動と会計報告の御承認について拍手を持って御承認を頂きました。

2. 第29期活動計画

■運営方針: キャリアを活かして社会貢献を強化

◆堀場グループ各社のOB会の交流に (継続)

■定例行事

- 懇親会: 年2回を予定(4月12日、9月20日)
- レジャー例会: 1回目6月21日を予定
- 一泊研修旅行: 3月21-22日を予定
- HORIBA ファーム: ブルーベリー摘み、綿花摘み等
- キャリア・ボランティア部会(=HOVC)
- ◆生き方探求館への京モノレジャー活動

※「世界に一つの温度計」に次ぐ「新テーマ」へ挑戦

■クラブ活動計画(29期) (敬称略)

- | クラブ名 | 部長 | 部員数 | 活動予定 |
|----------|-----|-----|-------------------------------------|
| ◎山遊会 | 下川 | 10名 | 年4回山行 |
| ◎釣り | 調子 | 8名 | 例会釣行 春~秋海釣6回 |
| ◎フォトクラブ | 笠川 | 未定 | 撮影会年1回実施、OB会PRとして会社の通路(ギャラリー)写真展示企画 |
| ◎囲碁 | 中村氏 | 7名 | 京都新聞杯、囲碁例会2回予定 |
| ◎TCC | 石川氏 | 9名 | : 防衛省(市ヶ谷)、サントリービール工場見学予定 |
| ◎ゴルフ | 三好氏 | 30名 | : ゴルフコンペ第16回、17回開催予定 |
| ◎ボウリング | 毛利氏 | 20名 | : 年12回+α 例会 |
| ◎カラオケクラブ | 小川氏 | 17名 | : 例会年6回 開催予定 女性会員募集 |

◆ 2024年第29期年次総会 (つづき)

■第29期 予算計画案 (詳細は割愛)

◆クラブ活動費は更なる活性化を期待して 22%の増加を提案。

第29期 会員・幹事体制

◆会員数 令和6年10月1日現在 276名
(10月23日 275名 橋口 純男 様 計報)

◆代表幹事: 酒井 俊英

◆副代表幹事: 小川 柁幸、岡田 知二(KSVU 事務局 長)

◆幹事: 石川 達夫(東京支部長), 笠川 重美, 北川 光夫(新任), 沢本 昌順, 中井 和美, 平野 彰弘(会計), 三橋 泰夫, 横浜 正樹(東京会計) (アウエオ順)

◆会計監査: 湯浅 一郎, 和田 晃一(堀場製作所) 御承認

拍手を持って御承認を頂きました。

第28期中の新入会員(4名: 敬称略・アイウエオ順)
井尻 裕和、木村 信治、水谷 浩、細川 浩司 (心から 歓迎します)

第28期中に古希を迎えられた方々(5名: 敬称略・アイウエオ順)

伊藤 哲、佐藤 文俊、横山 政昭、小林 隆、山尾 泰生 (おめでとうございます)

以上

第29期 年次総会概要《東京支部》

堀場製作所 OB 会第29期年次総会は、今回も総務部のご協力により TSO にてリモートで開催することができました。龍さん、新井さん、横山さん、横浜さん、ナタリアさん、加藤さん、石川の7名が TSO で参加しました。Teams によるリモート接続も今年で3年目となり、運用も問題なく行う事ができました。

第一部では、特別講演の堀場信吉博士の足跡をお聞きし、学術的に多くの功績があり、教育者としても多くの教育機関で指導的役割を果たし、それらが評価され、文化功労者として表彰され、功績がみとめられたこと 44 を改めて認識できました。その理念が現在にも影響をしていると感じました。第2部の総会では1年間の活動を振り返り、東京で活動したこと、京都での皆様方のご活躍、29期の計画を改めて確認できました。第3部の会社近況報告では、「エネルギー・環境」「バ



イオ・ヘルスケア」「先端材料・半導体」の3分野へ、先端技術、コアテクノロジーを駆使し、挑戦していく未来に期待が持てました。久しぶりに TSO を訪問された OB のメンバーが合間の時間に現役社員とのコミュニケーションを取り、有意義な時間を過ごすことができました。

会社近況報告

以下、第3部の要旨

2024年12月期、上期決算の概要をご説明します。

外部の不透明な状況で、金融政策によって一時、円安が進行、今でも先行きが不安定な為替相場が続いています。各国の大統領選挙が重なり、世界情勢の更なる変化が見られます。

・半導体の市況については、生成 AI、データセンターが半導体需要を牽引しました。

・水素などのクリーンエネルギーを始め、アンモニアなど合成燃料などの新エネルギーを目指した グリーントランスフォーメーションに関連した一連の投資が拡大している。この様な外部環境において堀場グループでは、市場環境の変化とそのスピードに対応する為に、様々な施策を行っています。

2024年は新しい MLMAP 2028 の初年度であり、エネルギー、環境、バイオ、ヘルスケア、先端材料、半導体でのフィールド対制への社内オペレーションが加速している。生産プロセスでの計則制御のアプリケーションに注力しているし、水素エネルギーや、ライフサイエンスなどの新しい分野でのビジネスが広がって来ている。2月-5月に公表させて頂いた数字

に対して、売上高、営業利益は未達部分が有るが、好調な半導体に貢献によって売上、営業利益、経常利益は、過去最高を記録している。

2. セグメント別には、全てのセグメントで前年同期比増収、上期の売上高としても過去最高となりました。自動車と半導体においては、前年同期比プラス、半導体は上期利益としては過去最高となった。通期 12 月の通期の予想としては設備投資意欲が強く、緩やかな成長をすると期待している。

・**自動車**は、EV、ハイブリッドなど、多様な動力源での開発が加速すると見込んでいます。ヨーロッパの新しい排ガス規制、「Euro 7」の導入に向けた内燃機関関連の開発投資にも期待される。

・**環境**に関しては、サステナビリティの観点からグリーントランスフォーメーションの関連の投資が加速、新エネルギー市場でのビジネスの拡大に期待している。電池産業のユーティリティや、産業プロセスの分野でガスや、水質のモニタリングのビジネスの拡大している。

・**医用**については、引き続き医療機関での受診需要の回復により検査試薬の販売が堅調。日本での流通在庫調整の影響が少し残っている。インドなどの成長市場での機器・試薬の販売増が期待される。

・**半導体**では、生成 AI やデータセンターの投資が拡大し、DRAM、フラッシュメモリー関連では需要が拡大しています。来年 2025 年に掛けては NAND フラッシュメモリーの市場が立ち上がって来ると予想している。中期的には大きな成長が期待でき、半導体製造プロセスでの計測の需要の拡大を見込んでいる。

・**科学**では、様々な産業における開発、及び生産プロセス向けの計測・分析機器が堅調に推移し、特にライフサイエンスでの需要拡大に期待している。

・全セグメントで過去最高の数字を目指している。営業利益では半導体が過去最高更新を見込んでいる。セグメント別の詳細を説明します。

◎**自動車の排ガス分野**では、日本、米国中心に需要が回復しており、販売が増加した。背景としては EV の停滞感により、エンジンの試験設備に振り当てられ戻っている。水素ビジネス以外の MCT,ECT のビジネスにおいては電動化などの需要を取込み、E モーターなどの高付加価値製品へのシフトが進んでおり、試験需要も増加している。水素ビジネスについては、幅広い

仕様、高度な仕様のニーズが増加し、業界の標準化が定まらない中、エンジニアリング工数が増えて収益性向上が遅れている。自動車でのトピクスは、人では対応不可能な長時間連続走行試験が必要となり、ロボットドライバーの需要が拡大している。

水素ビジネスについては、カーボンニュートラルに向けて将来必要不可欠になると考えている。今後、どのような技術が標準的になるのか未だわからない状況が続いているがお客様と共に高度化に対応している。2022 年 6 月に稼働したイツ・ホリバフェエルコンで、新しい設備を建てた。燃料電池、水電解、バッテリー評価装置の研究開発や、生産を行っており、現在フル稼働の状態であります。水素ビジネスは市場形成の途上にあり、効率、コスト、技術、社会的インフラなど水素生成の実現方法など未だ未だ多岐に渡っており、一番良い水素生成に向けて業界での競争が進んでいる。そんな中でいち早く工場での投資を行い、エンジニアリングの人材を多く雇用しお客様や業界にとっても初めての取組となるような幅広い案件の研究開発などの要求に答えている。生産システムをこのように構築したものの、安定稼働には未だ、時間が掛かり、エンジニアリングの業務が多いので、収益改善のタイミングは遅れている。今後は各国のエネルギー政策の動向をしっかりと見つつ、お客様と連携して、売上の拡大と収益改善を進めて行く。

◎**環境セグメント**では、ガス計測の分野では、日本市場を中心に、お客様のグリーントランスフォーメーションによりプロセス制御機器の販売が増加した。海外の大型案件が下期にスリップしたので上期は期首予想を下回った。ヨーロッパ・アジアで環境規制などの公共投資が停滞したことから販売が減少した。水質計測では電子産業での製造プロセスや、環境規制に向けた水質計測需要が増加している。下期から来年以降に掛けての見透しとしてはガス計測に於いては電子デバイス産業でのガス計測需要の増加、新エネルギー対応や、分離・貯留した CO2 を利用しようとする CCUS に関する計測等も中長期ビジネス拡大のドライバーになっていくと期待されている。

◎**水質計測**のビジネスでは、上期に引続き半導体産業での純水計測や排水の環境規制対応による需要の増加を期待している。2023年に買収したフランスの水質計測会社がインド市場で販売ネットワークを拡大し、売上増加を目指している。

トピックス：水質計測ビジネスに於いて水道水測定装置を上市した。測定項目ごとに容易にモジュールが脱着できるので構成時間の低減が見込まれる。成長市場での水道局、浄水池など、水を蛇口に運ぶまでの間の様々な計測ニーズに応え、安全安心な水を守るための取組を継続する。

◎**医用**では、2024年上期、検査試薬の販売が増加した、日本では在庫調整が響き、売上減少となった。インドの市場では血球計数装置や、生化学検査装置の、販売が堅調に推移し、ヨーロッパではシーメンス向けの供給も継続して進行している。下期・中長期の見透しとしては、国内およびインドでの成長市場で機器販売が先行して増加しており、今後の検査試薬の更なる販売回復を期待している。また、自動血球計数装置のアメリカFDAの認証を取得し、アメリカ、アジア、そして成長市場での拡販を期待している。免疫や、生化学分野等 血球計数分野以外でも、更なるビジネスの拡大を目指しています。

・トピックスとしては白血球5分類+赤血球沈降速度(ESR)を測定する炎症性の疾患を評価するための新製品を上市した。インドなど成長市場での販売を期待したい。

◎**半導体セグメント**については2024年市場は少しスローな状態ではあったが、DRAMメモリの市場に於いてAI向けのハイバンドワイドメモリ(HBM)に関する投資が牽引し、堅調な需要拡大に推移した。アジアでの半導体製造装置の需要が増加し、マスフローコントローラー、薬液濃度モニターの販売が加速した。車載向けのパワー半導体や、太陽光パネル、人工ダイヤモンド等、先端半導体以外の分野では調整局面となった。この下期の見透しとしてはNANDフラッシュメモリの関連ではデータセンター向けの需要が拡大していますが、本格的な需要拡大は2025年に入ってからの期待している。D-RAMメモリに関しては上期に引続き、AI向けのHBMの投資拡大が期待

できるし、エッチング分野でのプロセスの増加によるマスフローコントローラーなどの販売の増加を期待している。ロジック関連では引き続き堅調に推移する事を見込んでいる。既存の主力製品に加えて分光技術の活用を中心に半導体製造のプロセス全体でのセンシングのビジネスに領域の拡大をしようとしている。チャンバー内のセンシング技術の革新に寄与する、レーザーガス分析計を上市した。エッチングプロセスの終点計測用のモニターとなり、お客様の製品の歩留まり向上に寄与したい。

◎**科学セグメント**：上期はラマン分光分析装置や、粒子径分析計測装置、蛍光X線分析装置などの販売が増加し、先端材料開発や、ライフサイエンス市場でビジネスを拡大する事が出来た。半導体製造装置メーカー向けの光学モジュールについては、回復には至っていない。薬品、電池材料、電子部品などの生産プロセス管理のアプリケーション開発や、新製品開発をしてきた。下期から中長期に向けては、科学セグメントの中心であった最先端の研究開発向けの製品拡販と並行して、産業の製造プロセスの評価や、モニタリングビジネス、を拡大して行く。製薬や、ライフサイエンスの分野、半導体市場の産業プロセスに特化した製品への需要拡大を期待している。来年にかけては半導体市場の回復による半導体製造装置メーカーへの光学モジュールの販売の回復と増加を見込んでいる。

・トピックス：積層セラミックコンデンサ等電子部品の生産性向上に貢献するインラインでのX線モニタリングの装置となります。生産ラインにて活躍する堀場製品のアプリケーションを拡大する。

◎**MLMAP2028の特長**： 、エネルギー・環境、バイオヘルスケア、先端材料・半導体の三つのフィールドのそれぞれの分野でカーボンニュートラルや、ヘルスケアジャーニー、ウーブンバリューチェーンにおける技術革新に貢献していく。社内のオペレーションも従来の5つのセグメントからのオペレーションから3フィールドを中心にしたオペレーションに移行し、個々の更なる成長をめざす。

◎**先端材料・半導体フィールド**：ウエハーやフォトマスクでの薄膜検査の自動化のニーズが多くあり、今までアカデミア向けの研究開発目的で販売していた、顕

微ラマン分析装置や、分光エリプソメーターなどの分光機器を産業プロセスに応用して自動計測を行うカスタマイズを進めている。堀場では薄膜計測をはじめとして、独自の計測技術を取り揃えており、これらのセンシング技術を産業プロセスに展開する事で、半導体プロセスの効率化に貢献していく。

◎**エネルギー・環境フィールド**：サステナビリティへの貢献として、特に CO2 排出削減及び、EV 開発への貢献を。工場から排出される CO2 の貯蔵施設を共有する CO2 ハブの構想が欧米で拡大している。パイプラインで CO2 を集める際に CO2 濃度のモニタリングをしたり、腐食防止のためにパイプライン中の微量なガスの高感度計測の需要が高まっている。堀場のガス計測分析計が活躍する場面が増えてきた。EV で課題となっている熱マネジメントに関するソリューションが課題になっている。EV では走行用の電池を熱源にってしまう航続距離が短くなってしまう。その時に電池を使わないで、コンポーネントの排熱を如何に上手く捕らえてとらまえて効率よく使うかが課題。これまでに培ったシステムインテグレーションの経験を活かしてこの課題に取り組んでいく。

◎**バイオヘルスケア**：自動血球計数装置が米国 FDA の認証を取得した。米国でのヘマトロジービジネスを加速する製品になるが、米国のみならず、この製品はアジア市場でも拡大して行きたい。バイオ医薬品向けのソリューション。研究開発や品質保証での非破壊計測のニーズが強くある。バイオ医薬品の製造に於いて、細胞の状態をリアルタイム監視が出来るプロセスラマンシステムを開発した。9月のJASISでライフサイエンス向けに多様な新製品展示を行った。今後の販売につなげていきたい。

◎**全社でのトピックス**：MLMAP2028 ですが、今年2月に発表した。ビジネス・人材・サステナビリティの3つを柱とし、JOY & FUN for All “おもしろ おかしく”をあらゆる生命に..さらなる実現とさらなる事業成長をそして企業価値の向上を目指していく

◎**アカデミアと継続して連携**しており、3月に大阪公立大学との包括連携協定を結んだ。長期的な人材交流を軸に、産学官のトライアングル連携による社会実装、スマート社会実現に向けた共創分析プラットフォームの構築、高度な技術系人材の育成、の3本柱でとりくんでいる。研究シーズを社会実装していく事で、社会

課題の解決に取り組んでいきたい。

◎**2025年竣工予定の大阪公立大学中百舌鳥キャンパスのイノベーションアカデミーの共創研究拠点**のオープンイノベーションスペースを大阪府立大学（大阪公立大学の前身）の元学長である故堀場信吉先生の名を冠した“堀場信吉スクエア”と命名されることが決定している。堀場信吉先生は、創業者堀場雅夫最高顧問のお父様でいらっしゃいます。この両者には歴史的には深いえにしが有ると言えます。

◎**優良法人としての認定を受賞**したということで、3月健康経営優良法人2024ということで2017年から8年連続で認定して頂きました。7月には安全衛生優良企業として、京都府内でははじめての3度目の認定を頂きました。9月には令和6年度障害者雇用優良事業所として表彰されるなど、優良法人としての認定を受賞しました。今後も積極的な取組を継続してワークライフバランスの実現、明るく活気ある職場作りを目指して、社員一人一人が活躍できる職場作りのためにできることを考えながら、障害者雇用の促進、安定雇用、職場作り、というのを推進していきます。

◎**10月には20回目の堀場雅夫賞の授賞式を開催**しました。今回のテーマは「水環境を健全に保ち、循環型社会の形成に貢献する計測・分析技術」。海外を含め25件の応募があった。3名が堀場雅夫賞を受賞され、2名が特別賞の受賞者に決定された。受賞記念セミナーそして授賞式を行いました。学術関係、行政関係を広くお招きして行われた。

◎**最後に2件の海外のトピックス**。

5月にイギリスに有りますHORIBAマイラ社がイギリスのビジネス分野での最も荣誉ある「キングスアワード」を持続可能な発展の部門で受賞した。2018年に国際貿易部門の受賞について2回目となる。

6月にイギリス王室がバッキンガム宮殿で天皇皇后を迎えられ、晩餐会が行われた。日本から企業4社の代表者が招かれ、堀場厚会長夫妻が招待されました。HORIBAマイラ社での継続的なビジネス投資など、イギリスでの堀場のプレゼンス等が認められている事によるものと言えます。

以上で、報告を終わります。ありがとうございました。

◆ 2024年第29期年次総会 (つづき)

年次総会・懇親会

年次総会に引き続いて懇親会が開催されました。皆さん、お元気で再開、近況報告など各自思い思いに挨拶、歓喜の輪が広がりました。



毎回問題になる懇親会、今回もリモートで京都と共有することはできませんでしたが、東京支部では、6名で御茶ノ水駅近くの居酒屋で懇親会を開催いたしました。プレミアムモルツで乾杯してスタート、おいしい焼き鳥・鳥料理と飲み物を堪能しました。今回も、昔の思い出話、会社の将来などの話題に花が咲き、大いに盛り上がりました。



毎年行われる年次総会は、東京地区のOB会メンバー及び現役社員と直接のコミュニケーションが取れる貴重な機会です。
(石川達夫 記)

◆HOVC活動 ボランティア部会

工房学習活動

◎9月20日(金)「生き方探求館」の工房学習に、OB会から、森山、北川、石黒、沢本の4名がモノレンジャーとして参加。堀場製作所の福島さん、長松さん、そして小松さんと豪華メンバーと一緒に、本社近隣の七条小学校 4年生70名の工房学習をサポート。前半後半の2班に分かれ「はかるとわかる 世界にひとつの温度計」作りのお世話をしました。2学期最初の学習は、新たな気持ちでモノづくりの楽しさと環境への意識を深めることができました。(沢本昌順 記)



◎11月13日(水)「生き方探求館」モノづくり学習支援員[京モノレンジャー]活動に参加してきました。堀場製作所より長松さんを含め3名とOB会からは、酒井さんを含め6名で活動してきました。今回学習されたのは、伏見住吉小学校の生徒49名の皆さん。身近な「はかるとわかる」をテーマに質問を交えてわかりやすくセンサーを解説され、そして「世界にひとつの温度計」の組立指導となりました。私達は、生徒さんが順序良く作業されるのを少しお手伝い。全員無事に完成。温度計に電池を接続しスイッチを入れてLEDが点灯するのを確認した時は、一斉に拍手されます。私たちも大変うれしい瞬間です。実験を通してして「はかるとわかる」

と「わかる」を学習されました。今回堀場のDX戦略センターの栗田さんが初めて学習に参加され組立と実験での生徒さんと一緒に感動されていました。みなさんも一緒にモノづくりへの支援をしてみませんか？(笠川重美 記)



◎12月6日(金)「生き方探求館」モノづくり学習支援員[京モノレンジャー]活動に参加してきました。堀場製作所より長松さんを含め3名とOB会からは、北川さんを含め4名で活動してきました。学習された生徒さんは、境谷小学校の24名と小栗栖宮山小学校の22名の皆さんでした。この日は、急に気温が下がり体調を崩された生徒さんがおられ欠席が多くありました。身近な「はかるとわかる」をテーマに、「世界にひとつの温度計」の組立指導となりました。全員無事に完成して電池を接続しスイッチを入れてLEDが点灯するのを確認した時は、みなさん拍手されます。私たちも大変うれしい瞬間です。今回、「生き方探求館」で支援していただいている方々にも集合写真に入っていました。ありがとうございました。(笠川重美 記)



鴨川クリーンハイク

6月2日(日)朝10時から、鴨川クリーンハイク第2回が、開催されました。雨粒がパラパラ降ったり止んだりしていて、どうなるか心配しながら始まりました。松井新市長も参加され、鴨川を美しくする会が、今年60周年を迎えたことが話題になっていました。堀場製作所OB会からは石黒さん、中村正さん、酒井と、岡田さんの友人の矢吹さんの4人の参加と成りました。全体では240名の参加で五条公園はもう一杯でした。何時ものように鴨川左岸の堤防が担当でした。いつものXOクラスター(OMRON OB会)、スリーエスシニアベンチャークラブ(積水化学工業OB会)の方々と、一緒でした。幸い雨は殆ど降らないまま、丸太町橋右岸の集合地まで到着。11時半過ぎに解散となりました。湿度の高い蒸暑い中で、頑張った皆さん、お疲れさまでした。(酒井俊英 記)



オオバナミズキンバイ駆除大作戦

6月30日(日)開催のオオバナミズキンバイ駆除活動は、9時15分から雨天の中で開始されました。終わる頃には雨は上がりました。雨の影響で、せまい範囲での活動となったのですが、疲れは同じに感じました。(酒井俊英 記)



祇園祭ごみゼロ大作戦

7月5日(祝)祇園祭ごみゼロ大作戦の宵宵山に参加してきました。祇園祭ごみゼロ大作戦は、リユース食器を活用したごみ減量方策にてごみ減量に成功している活動で、堀場OB会から8名(酒井、石黒、小川、北川、佐々木、宮下、中村(正)、笠川)で参加してきました。今年は雨予報で来場者が少ないのかと予想に反して沢山の人でした。私たちの担当する、ゴミステーションは新町蛸薬師、新町六角の2カ所で、17時に集合し18時からの20時までを担当しました。少し雨が降っていましたが、途中からすごい大雨になりカッパを着ました。次のボランティアの方と交代する20時には、雨もやみ暗くなり、ますます人が増えてきて、家族連れも多くおられ、中には、浴衣姿の外国の方と思われる人も、多く見かけました。無事終了となり人ごみの中、帰宅しました。

(笠川重美 記)



◆行事報告

懇親会

OB会夏の懇親会が9月21日夕刻より「がんこ高瀬川二条苑」で33名の参加で開催されました。高瀬川沿いの「がんこ」は、庭が有名で今回も多くの方の海外の方が来ておられました。懇親会は沢本さんの司会で始まり、酒井代表幹事挨拶、山下さんの会社状況説明、そして内山さんの乾杯にて宴会となりました。



宴会が始まるとみなさん飲み物を持って移動され、大いに盛り上がり熱気がこもってエアコンの設定温度を下げるほどでした。今回も参加された方の中から、近況を披露いただきながら、美味しい食事とお酒をいただきました。懇親会で皆様とお話しさせていただくと、あの時代に戻り、いろいろな思い出が甦ります。



今後もOB会では各種行事が企画されていますので、みなさんと楽しい時間を過ごしたいと思います。是非、参加をお願い致します。（笠川 重美 記）



◆ レジャー例会

SPring-8、西はりま天文台

6月28日（金）レジャー例会として SPring-8 と、西はりま天文台へ行きました。

《まずは、SPring-8 へ》

当初 24 名で募集したところ、なんと 29 名もの募集があり、マイクロバス定員を超えたため、対策を検討しました。その結果、マイクロバスと乗用車の 2 台で行くことにしました。天気予報ではあいにくの雨でした。集合時にも雨が強まり、先行きが心配されました。道中、2 台で走行のため、もう一台の車とやり取りをしながら、移動しました。

SPring-8 に到着した時は、幸運にも小雨になっていました。到着後まず、施設内の説明が行われました。



SPring-8 では強力な放射光を使って実験できる場所が 58 箇所、理化学研究所の他に大学、民間企業など、それぞれの研究施設が入って研究している。

直径 500 m の SPring-8 と直線 700 m の X 線自由電子レーザー施設 SACLA との連携で、はやぶさの試料の解析、光合成のしくみの研究はじめ、生命科学、創薬、医療、素材、エネルギー、宇宙、地球等など、幅広い研究が行われていました。



SPring-8 と SACLA の全景



SPring-8 では内部も見学させていただきました。建屋内での研究者の移動手段は自転車を利用されていました。SACLA を支える日本の会社がパネルで紹介されていて、OB 会の桐野さんの会社も掲載されていました。



《昼食の後、西はりま天文台へ》

昼食は FUKUTEI で取りました。その後、西はりま天文台へ向かいました。西はりま天文台は日本一の口径、2m の反射望遠鏡である。



目で観測する以外に、撮像素子 (CCD) を使い、可視光以外、赤外、紫外でも観測が行われている。また見学者のため、望遠鏡を動かすデモを行っていただきました。対応した職員が、専門的な質問が多くびっくりされていました。その後マイクロバス、乗用車に乗車し京都駅八条口に戻り解散しました。参加者は 25 名でした。

(三橋 泰夫 記)

神戸須磨シーワールド



11月22日（金）レジャー例会として今年6月にリニューアルした神戸須磨シーワールドへ行きました。前身は「神戸市立須磨海浜水族園」です。京都駅八条口に22人で集合、定刻の8:15に全員が集まり、出発しました。神戸の阪神高速に入ると、予想通りの渋滞。ようやく渋滞を抜け最初の見学場所であるポ

ートタワーに着きました。ここで古澤さんと合流し、ポートタワーに入りました。エレベーターで展望フロアに行き、屋上デッキへは階段で上りました。天気は良かったため、屋上デッキからは、神戸の街が海、山を含め一望に見渡せました。その後、地上へ降り、記念撮影をしました。



次に昼食場所であるポートタワーホテルへ向かいました。ここではバイキング料理を楽しみ、みんなめいめいに料理を楽しんでいました。

その後、今回の目玉である、神戸須磨シーワールドに向いました。神戸須磨シーワールドは平日にも関わらず、大勢の人でにぎわっていました。入場して記念撮影後、皆さん好みの場所へ散らばりました。

私は、オルカショーを見に行きました。オルカの華麗なダイナミックなショーに見入りました。オルカが客席に向かって水をかけ、愛嬌を振りまいていました。



次に、アクアライブへ行きました。色々な海洋生物が実際の環境を模した形で展示されていました。



次にドルフィンスタジアムでのイルカショーを柵の外から見学しました。



展示が新鮮で単に水族館というイメージを超えた施設でした。参加者は23名でした。

(三橋 泰夫 記)

◆クラブ活動報告

山遊会



<第76回> 例会

年月日 令和6年9月25日(水) 晴

山行先 大輪田泊散策

参加者 丸山 博・宇野久二男・下川和子・下川 博司

大輪田泊(おおわだのとまり)は平清盛が日宋貿易の拠点とするため修築、人工島・経ヶ島を築いて整備拡張。その港を見下ろせる麓に福原京を計画、遷都を強行した。JR京都駅に午前8時50分集合。ダイヤが少し乱れていて丁度到着した新快速姫路行きに乗り神戸駅で下車。9時55分スタート、国道2号線を南下15分ほどで鎮守稲荷社へ。清盛の甥・平経俊が一の谷で戦死し、供養の五輪塔が残されている。国道を向かいに渡り七宮神社に、清盛が経ヶ島を築くため塩樋山の土砂を取るに当たり、そこに住む神を恐れ神社を現在地に移築し無事築造出来たと云われる。バス道を少し南下し、運河に築かれた築島水門を左手にみて来迎寺(築島寺)へ。清盛の経ヶ島築造に当たり幾度も暴風大波に会い難渋、人柱にたった17歳の松王丸の菩提を弔うため二条天皇の勅命により建立され供養塔が残されている。その隣には清盛の愛人・妓王と妓女の墓も。運河の角に当たるところに古代大輪田泊の岩棕(いわくら)が置かれている。大輪田泊は奈良時代に行基が修築したと伝えられ、昭和27年の運河の浚渫工事の際に出土。奈良時代後半の港湾施設の石材と推定された。運河を離れて道を東にとり能福寺に向かう。清盛が出家した寺と言われ、清盛の死後遺言によりここに埋葬され廟が残されているが遺骨はない

とのこと。境内には兵庫大仏(毘盧遮那仏)が鎮座する。奈良・鎌倉に次ぐ大きさを平成3年の再建。恒例の集合写真を撮る。続いて真光寺へ、清盛が厳島神社を勧請して祀ったとされる兵庫七福神のひとつ。時宗の開祖・一遍上人入滅の地で、五輪塔のある玉垣内に遺骨が安置されており県の史跡に指定されている。道をはさんで清盛塚に立ち寄り、兵庫運河にかかる清盛橋を渡り薬仙寺へ。時刻はとうに正午を過ぎ、暑さも手伝ってバテバテ。薬仙寺には萱の御所(牢の御所)跡の碑があり、清盛が後白河法皇を幽閉した場所と伝わる。最後に和田神社に詣でる。神代の昔蛭子大神が淡路から和田岬に上陸したと言われ、清盛が安芸の宮島から市杵島姫大神を勧請している。13時、JR和田岬線和田岬駅前でお目当ての食堂にたどり着き、鮮魚のランチ定食に舌鼓。英気を養い14時発の神戸市バスで兵庫津ミュージアムに向かい、ひょうごはじまり館の常設展示室で大輪田泊の歴史を学習。次いで兵庫県庁舎復元施設である「初代県庁館」で、初代知事に20代で就任した伊藤俊介(博文)の執務室や庭園を見学。門前で2枚目の集合写真に納まる。16時ごろ市営地下鉄海岸線で三宮・花時計前駅に出て、阪急神戸三宮・JR三ノ宮駅でそれぞれ帰宅の途についた。

(下川博司 記)

ボウリングクラブ



10月21日(土)10月度月例会を開催しました。田中光子さんが優勝です。80歳で足悪いのに155点

ゲームは立派です。2位は初心者の秦野真歩さん（ステージ社員）が176点出しました。3位は近所の犬に右手を噛まれた山田毅さんが212点で入賞です。ハンデはグングン減っています。惜しくも同点の4位はアベ163の鳥島義則さんも好調です。5位の長澤譲さんはハンデゼロで580も凄いです。永田真寿夫さんは体調不良の中、懸命の出場でした。毛利は良いボールもあるのですが、結果はでていません。次回は先輩を見習って頑張ります。

順位	氏名	Net	HD
優勝	田中光子	607	80
2位	秦野真歩	595	70
3位	山田毅	593	21
4位	鳥島義則	593	35
5位	長澤穰	580	0
6位	芦谷恭通	538	32
7位	毛利隆文	525	18
8位	小林正和	512	2
9位	中岸プロ	495	-34
10位	永田真寿夫		

釣りクラブ



7月19日(金)に中村、山尾、内原、山岸、調子の5名で東舞鶴から出船し冠島と伊根の間のポイントで半夜釣を楽しみました。15時出船23時納竿のスケジュールです。梅雨の末期ということで雷雨の予報がありました。雨も殆ど降らず、沖では涼しい風もあり快適な環境下で釣りを楽しむことができました。釣果の方は鱈、鯖、真鯛等の魚と本命の剣先イカ釣りを楽しむことができました。剣先イカは小型が多かったですが各自平均で10杯程度の釣果でした。

(調子 均 記)

囲碁クラブ



9月29日(日)、八瀬近くにある丸山宅で、囲碁の対戦を兼ねた総会を開きました。検討当日、午後1時に東(三段)・丸山(二段)・下川(二級)・李虎(今年度入会-初段)・中村(一級)の5名が集まりました。総会では、今期のクラブ活動報告と来期活動計画を検討しました。総会后、各クラスのハンディに基づきスタートし、午後5時お開きとなりました。

(中村正博 記)

東京カルチャークラブ(TCC)



2024年7月3日、20年ぶりに新札(新紙幣)が発行されました。そこで、日本銀行本店と付随する貨幣博物館の見学に行ってきました。9月25日水曜日、京都から三橋さん、山岸さん、野口さんに参加いただき、東京から、佐藤さん、林さん、横山さん、横浜さん、ナタリアさんご夫婦、私の総勢11名が日本銀行本店に集合しました。見学は身分証明及び金属探知機検査、携行品のX線検査と物々しい雰囲気が始まりました。

◆クラブ活動報告 (つづき)

最初にビデオを見て、日本銀行の概要を勉強。その後、本館建物（地下金庫、旧営業場、展示室）を、ガイドさんの解説付きで見学しました。日本銀行本店本館は、日本近代建築界の先駆者であった辰野金吾氏によって設計され、現在築128年の建物です。日本人建築家による、最初の本格的な明治洋風建築であり、現存する最も重要な建物の一つとして、1974年には国の重要文化財に指定されています。関東大震災、戦災による被害を受けましたが、建物の倒壊は免れてきました。金庫のある地下は、被災が無く、明治時代の建設当初の姿をそのまま残しておりました。驚いたことは、本館全体の免振工事がされていた事です。本館は石造りでできており、その総重量は7.5万トン、スカイツリーの鉄骨総量の2倍の重さになります。建物の基礎部分と建物を切り離し、その間に免振ゴム、108個のダンパーを取り付け、建物全体をフローティングする構造となっています。また、先に免振工事がされた隣接する旧館と地震発生時に接触しないように、本館と旧館の連結構造にも工夫がされていました。その免振装置も実際に見学できるようにガラス張りになっています。日本銀行見学後、隣接する貨幣博物館を自由見学。貨幣に関する歴史的、文化的な資料が展示されて



おり、貨幣発行の歴史等を学ぶことができました。その後近くの日本料理麴蔵で8名が参加して昼食会を実施しました。佐藤さんのご厚意により、ビールで乾杯することもできました。今回は、日本唯一の「発券銀行」として、物価の安定を図り、金融システムの安定に貢献する日本銀行および発券された貨幣と、その歴史を学べた有意義な見学会でした。（石川達夫 記）

ゴルフクラブ



第16回堀場製作所ゴルフコンペ開催報告

10月18日（金）大津カントリークラブ西コースの開催。当日は、曇りがちでしたが最後まで雨が降らずプレーすることができました。4組、16人の参加者となりました。そして、怪我する人も無くプレーを楽しむことができました。ルールはダブルペリア方式（NETに以前優勝者などへHCを加算）で実施。1位上山忠洋さん、2位中村正博さん、3位早田善孝さん、4位大西敏和さん、5位佐々木一訓さんとなりました。賞品は、順位賞 飛賞、NP賞、DG賞、エンジェル賞と有志からのゴルフボールの提供、全員が何かの景品をもらえる運びとなりました。前々回、成績集計のミスでバタバタした為、再発しないように何度もゴルフ場スタッフに確認を行い、無事終了することができました。また、皆様にご協力いただきありがとうございます。

次回は2025/4/18(金) 滋賀カントリー（信楽カントリー田代コースの奥）の開催予定となります。沢山のご参加お待ちしております。

★今回の参加者（順不同、敬称略）

土肥守 山田毅 三好則夫 宇野久二男 小林正義 小菅博之 柳田祥男 倉原政治 上山忠洋 向原和秀 大西敏和 中村正博 河合治男 佐々木一訓 杉山頼道 早田善孝

幹事 大西、向原

（大西敏和 記）

カラオケクラブ

◎10月26日(土)15時半より、紬にて会員10名が集まり、初参加の毛利さん、八木さんの挨拶や近況等でガヤガヤ。やっとカラオケスタート。

野口さん西田敏行の「もしもピアノが弾けたなら」を熱唱、中断して野口さん【昴】をハーモニカ披露、八木さんもウエスタン?牧歌的な曲披露し大拍手喝采となりました。カラオケ再開小田和正「たしかなこと」全員で爆唱。毛利さん2曲披露。途中小生退場。後を石黒さんへバトンタッチした。

参加者(敬称略):石黒、山尾、分部、中村、野口、大川、土肥、毛利、八木

(小川柁幸 記)



◎9月7日(土)、台風🌀で一週間延期していつもの紬にて開催致しました。

当日は蒸し暑日でしたが7名の会員が参加。ほぼ1年振りの土肥さん、演歌を爆唱、吉井さんサザン、AKB



熱唱、石黒さん変え歌披露。

参加の皆さん、ママの愛情こもった散らし寿司を食べながら3時間たっぷり楽しみました。

大崎さんからのメッセージ

『同世代の皆さんもご参加ください』

参加大歓迎です 🍷🎵

(小川柁幸 記)

フォトクラブ

OB会員みなさんの写真を募集します。みなさんお持ちのスマホのカメラ機能が高性能となり、「楽しい」、「きれい」、など感動する写真が撮影されていると思いますのでぜひ紹介をお願いいたします。会社のギャラリー&ホームページなどで紹介したいと考えています。そしてクラブ員でのLINEでの写真紹介なども企画させていただきます。

現在、若者に再認識されているコンデシ(コンパクトデジタルカメラの略)や、クラカメ(フィルムカメラの総称)で撮影された、味のあるお写真もお待ちしています!



(笠川重美 記)

◆会社ニュース ピックアップ

◎大阪公立大学と HORIBA 緑が紡ぐ産学連携でイノベーション創出へ

大阪公立大学（以下、公立大）と堀場製作所（以下、HORIBA）は、相互の人財交流を軸に、社会課題を解決する新たなイノベーション創出をめざす取り組みを加速させるため、包括連携協定を締結しました。



共創研究への礎フォーラムの様子

多数のメディアをはじめ学生を含む両関係者 約 80 名が集うなか、3月6日に開催された記念イベント「共創研究への礎フォーラム」では、大阪府立大、大阪市立大時代から続く公立大と HORIBA のこれまでの軌跡を振り返りながら、共に紡ぐ未来のビジョンを表明しました。イベント冒頭、2025 年春に竣工予定である中百舌鳥キャンパス内イノベーションアカデミー共創研究拠点（スマートエネルギー棟）のオープンイノベーションスペースを「堀場信吉スクエア」と命名することが、公立大 辰巳沙（タツミサゴ）学長より発表されました。

包括連携協定は人材交流を軸に以下の 3 本柱で取り組みます。

1. 産学官民の『トライアングル連携』による社会実装
2. スマート社会の実現に向けた共創分析プラットフォームの構築
3. 高度な技術系人材の育成

詳細は、上記QRコードへアクセスください。



公立大の前身である大阪府立大学時の思い出を語る
堀場製作所 中村博司コーポレートオフィサーCTO

◎「健康経営優良法人 2024」に認定

従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に取り組んでいる法人として、経済産業省と日本健康会議が共同で推進する「健康経営優良法人 2024」に、2017 年から 8 年連続で認定されました。社是である「おもしろおかしく」を従業員一人ひとりが体現するためには、心身の健康が最も大切であると考えています。2012 年 5 月に経営トップから発出された「“こころとからだの健康づくり”宣言」のもと、健康経営の推進にむけた組織体制づくりや健康保持・増進ならびにメンタルヘルス対策に関して、様々な活動に取り組んでいます。今後も、健康経営への積極的な取り組みを継続・発展させることで、健康で元気なワークライフバランスを実現できる職場づくりを推進していきます。



◎10月に20回目の堀場雅夫賞の授賞式を開催



Masao Horiba Awards
堀場雅夫賞

堀場製作所は、このほど、国内外の大学または公的研究機関の研究開発者を対象とした「分析・計測技術」に関する研究奨励賞『堀場雅夫賞』の2024年度受賞者を決定しました。2003年の本賞創設から20回目となる今回の選考テーマは「**水環境を健全に保ち循環型社会の形成に貢献する分析・計測技術**」で、海外含め25件（国内14件、海外11件）の応募がありました。これらの応募に対し、募集分野において権威ある研究者を中心に7名で構成する審査委員会が、将来性や独創性、ユニークな計測機器への発展性に重点を置いて評価し、3名を堀場雅夫賞受賞者に、2名を特別賞受賞者に決定しました。受賞記念セミナーならびに授賞式は、学术界および行政関係から出席者をお招きし、10月17日(木)に執り行われました。



◎海外のトピックス ①

5月にイギリスにあるHORIBAマイラ社がイギリスのビジネス分野での最も栄誉ある「キングス・アワード」を持続可能な発展の部門で受賞。2018年に国際貿易部門の受賞について2回目となる。キングス・アワードは、英国の優れたビジネスを表彰することでエリザベス2世女王の遺産を引き継ぎたいという国王陛下の願いを反映しています。産業界、学界、ボランティア部門、ホワイトホールの高官の専門家によって厳格な評価プロセスに合格したキングス・アワード・フォー・エンタープライズの受賞者は、首相によって推薦されています。



HORIBAマイラ社のマネージングディレクター
デクラン・アレンさん

私たちの総力を挙げての努力が、国王陛下から最高の称賛を受けたことを本当に嬉しく思います。これにより、私たちの仕事にさらに勢いが加わり、私たちのソリューションとサービスでサポートする企業の数が増えると確信しています。

◎海外のトピックス ②

6月にイギリス王室がバッキンガム宮殿で天皇皇后を迎えられ、晩餐会が行われた。日本から企業4社の代表者が招かれ、堀場厚会長夫妻が招待されました。HORIBAマイラ社での継続的なビジネス投資など、イギリスでの堀場のプレゼンス等が認められている事によるものと言えます。



◆OB会だより

ホームページの紹介

堀場製作所OB会のホームページがリニューアル!

各種行事をはじめ、クラブ活動やHOVC、会報など、記事の検索性が向上し、とても見やすくなりました。また、動画も掲載出来る様になりました。



会報、ホームページへの寄稿について

会報に掲載する寄稿文を募集しています。テーマは特に定めていません。

- ◎旅行の感想
- ◎地域での活動
- ◎地域の祭り
- ◎地域の名所・旧跡の紹介 など

身近なテーマを気軽に寄稿願ひ致します。

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合、おおむね下記の文字数でお願い致します。

- ◆会報へ寄稿文 150文字以内
- ◆ホームページへの活動報告 800文字以内
- ◆写真は必ず1~2枚添付ください。
- ◆寄稿は10月末、4月末を目途に提出願ひします。
会報は年2回発行します(6月、12月)。
- ◆著作権について
 - ・書籍から引用の時は出典を明記してください。
(発行元、書籍名、著者)
 - ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得てください。
- ◆活動報告は行事終了後、直ちに報告願ひします。
- ◆会報への投稿には記念の品を進呈させていただきます。
- ◆送付先 会報事務局編集責任者 沢本 昌順

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2
堀場製作所OB会 会報事務局宛

新入会員紹介

第28期中に入会された方々 (敬称略)
井尻 裕和、木村 信治、水谷 浩、細川 浩司

古希を迎えられた方

第28期中に古希を迎えられた方々 (敬称略)
伊藤 哲、佐藤 文俊、横山 政昭、小林 隆、山尾 泰生

会員数

会員数276名 (2024年10月31日現在)

訃報

第28期中の物故者

心より、御冥福をお祈り申し上げます。

高田 康光 様(享年76歳) 竹内 幸雄 様(享年81歳)
有賀 喜一 様(享年90歳) 秋山 重之 様(享年83歳)
寺西 英三 様(享年97歳)

OB会入会手続きについて

堀場製作所OB会に入会ご希望の方は、OB会ホームページの「[入会のお誘い](#)」記載内容をご確認のうえ、「[入会申込書](#)」に必要事項をご記入し、メール添付または、郵送にてOB会事務局宛にお送りください。事務局受付後、入会費、年会費振込用紙を送付させていただきますので郵便局より振込んでください。ご不明な事は、OB会事務局に御問合せください。

◎事務局宛先:

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2
株式会社堀場製作所内 堀場製作所OB会室 宛

◎堀場製作所OB会ホームページ:

https://horiba-ob.com/public_html/nyukai

◎メールの宛先:

horiba.ob@gmail.com

編集後記

長い残暑がやっと収まって秋が訪れたと思ったら、紅葉を楽しむ間もなく、寒い冬の入りとなりました。皆様、体調管理に留意いただき、暖かくして新しい年をお迎えください。(沢本昌順 記)